

令和6年8月1日

都内各中学校長 様
東京都中学校理科教育研究会会員 様

東京都中学校教育研究会
会 長 本 杉 貴 保
東京都中学校理科教育研究会
会 長 鶴 澤 伸 一
研究部長 松 木 千 明

第70回 東京都中学校生徒理科研究発表会の開催・応募について（訂正版）

日頃より、東京都中学校理科教育研究会の活動にご協力をいただき、ありがとうございます。
心より感謝申し上げます。

さて、毎年開催いたしております東京都中学校生徒理科研究発表会は、70回目を迎えます。
今年度は、下記のように開催することになりました。

つきましては、発表生徒の推薦並びに関係者の参加につき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1 趣 旨 生徒による理科研究を奨励するため、都内の代表生徒による発表会を開催する。

2 日 時 令和7年1月19日(日) 13時00分～16時40分(受付開始12時40分)

3 会 場 豊島区立西巣鴨中学校
〒170-0005 豊島区南大塚 3-18-1
交通：JR 山手線「大塚駅」下車 南口より徒歩約5分

4 内 容 ブースでのポスターセッション形式での発表を中心に行う。

5 表 彰

(1) 表彰の内容

- 東京都中学校理科教育研究会と読売新聞社(後援)からの賞状を各校(団体等)に1枚、読売新聞社からのメダルを発表者及び共同研究者(生徒)全員に授与します。
- 審査により、発表校(団体等)の中から特に優秀な研究を行ったと認められる3校(団体等)に、「優秀賞」として賞状と記念の盾を授与します。

(2) 審査基準

「優秀賞」は、当日の発表内容を次の基準により審査し、決定します。

- ① 発表内容が筋道立てて整理されている。
- ② 発表内容に中学生らしい創造力や発想が生かされている。
- ③ 発表方法が工夫されていて分かりやすい。
- ④ 研究に携わった中学生の熱意と努力が優れている。

6 応募書類

- (1) 申込書 …指定の URL より、連絡先などの情報を教員が入力。
- (2) 応募票 …指定の書式（別紙）。研究の概要の紹介資料。生徒が作成。
- (3) 研究報告書…A4 版、片面刷り、1 枚分。書式は自由。生徒が作成。

7 応募期間

令和6年10月1日（火）～10月31日（木）

※各地区での選考があり、代表校（団体など）が10月31日以降に決定する等の事情がある場合には、各地区の選考責任者が、事前に下記担当者までお知らせください。

8 応募方法

- (1) 申込は次の URL あるいは右の QR コードから必要事項を入力してください。

URL : <https://forms.gle/ZgRJ3qVVd1LYDMiU6>



- (2) 応募票・研究報告書は、交換便や郵便で下記担当へ応募期間内に届くように送付してください。

【担当者】 足立区立竹の塚中学校 主任教諭 藤本 博之
電話：03-3883-1251 FAX：03-3883-1252

9 留意点

- (1) 応募票のデータは、必要に応じて、下の都中理ホームページ内からダウンロードしてください。応募票は、別紙を印刷して、手書きで作成しても構いません。

URL (<http://www.tochuri.net/seitoken/> ※右の QR コード)



- (2) 応募校（団体等）が多数の場合には、都中理研究部が審査を行い、発表校12校（団体を決定します。発表校12校（団体等）の決定は11月5日（火）までに行い、応募のあった各校（団体等）にお知らせします。
- (3) 東京都中学校生徒理科研究発表会についての情報がある場合には、都中理ホームページ内にてお知らせします。

10 その他

- (1) 11月19日（火）に発表校（団体等）の打合せを予定しています。発表に関する詳細はこの打合せの際にご説明します。ご参加のほど、よろしくお願いします。

- (2) 問い合わせ先

【担当者】 足立区立竹の塚中学校 主任教諭 藤本 博之
電話：03-3883-1251 FAX：03-3883-1252

11 参考資料（申込書・応募票）

- (1) 申込時に入力する内容

- ・地区名 ・学校名 ・学校所在地 ・電話番号 ・FAX 番号
- ・連絡先の電子メールアドレス（添付ファイルが可能なアドレス）
- ・発表題目 ・発表生徒名 ・発表生徒名フリガナ ・共同研究者（生徒）人数
- ・共同研究者氏名 ・指導の先生 ・引率の先生 等

(2) 応募票の様式（別紙１）

第70回 東京都中学校生徒理科研究発表会 応募票

作成日	地区名	学校名
研究テーマ		
(フリガナ) 発表生徒名		
(1) 動機や背景・目的（なぜこの研究を行ったのか）		

(2) 研究方法（なぜその方法を採用したのか）

(3) 研究結果（どのような結果になったのか）

(4) まとめ・結論（結果から言えること・わかったこと）

(5) 展望（結果から、この研究はどのように使えるか。どのような場面に応用できそうか）